



2023年3月29日

株式会社丸山タオルに対する
「〈ひろぎん〉サステナビリティ・リンク・ローン」の実行について

株式会社広島銀行(頭取 清宗 一男)では、株式会社丸山タオル(本社:愛媛県今治市、代表取締役 丸山 要)に対して「〈ひろぎん〉サステナビリティ・リンク・ローン」を実行しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 案件概要 (「〈ひろぎん〉サステナビリティ・リンク・ローン」の概要は別紙1をご参照ください)

| | |
|-------------------------------------|--|
| 契約締結日 | 2023年3月29日 |
| 融資金額 | 1億円 |
| 融資期間 | 5年 |
| SPT (サステナビリティ・ パフォーマンス・ターゲット) | オーガニックコットンを原材料とするタオル製品の売上増加率 |
| その他 | サステナビリティ・リンク・ローンとしての適合性および SPT の合理性について、ひろぎんエリアデザイン株式会社からセカンドオピニオン(詳細:別紙2)を取得しております。 |

2. 企業概要

| | |
|-------|--|
| 会社名 | 株式会社丸山タオル |
| 所在地 | 愛媛県今治市東鳥生町3丁目1番48号 |
| 代表者 | 丸山 要 |
| 業種 | タオル製造業 |
| 事業内容等 | 「安心・安全なタオルづくり」にこだわり、今治タオルブランド認定商品の品質基準に適合した製品づくりや、子供や肌の弱い方でも安心して使用できる優しいタオルの開発・製造に取り組んでいます。また、土壌汚染防止及び、地球環境保全に繋がるオーガニックコットンを活用したタオル製品の開発、販売促進に努めることで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。 |

以上



広島銀行では、SDGsへの取組みを強化しており、関連するニュースリリースに「SDGs 17の目標アイコン」を明示しています。

【SDGs (Sustainable Development Goals) 持続可能な開発目標】
2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。
持続可能な開発のための17の目標と169のターゲットで構成。

本件に関するお問い合わせ先
株式会社 広島銀行 法人企画部
TEL (082)247-5151 (代表)

「〈ひろぎん〉サステナブルローン」について

○特長

- ・環境省等が定めるガイドラインに整合したファイナンスフレームワーク「〈ひろぎん〉サステナブルローン」※を策定し、そのもとで「サステナビリティ・リンク・ローン」と「グリーンローン」の2商品をご用意し、ニーズに応じてご利用いただけます。

| | |
|------------------|--|
| サステナビリティ・リンク・ローン | <ul style="list-style-type: none"> ・ ESG・SDGs に関する目標を設定いただき、達成した場合に金利引下げを実施 ・ 設定いただく目標等にかかる外部レビューと年1回のレポートイングが必要 |
| グリーンローン | <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際原則や政府指針に掲げるグリーンプロジェクトにかかる設備資金のみが対象 ・ 年1回のレポートイングが必要 |

※ファイナンスフレームワークのグリーンローン原則等に対する整合性について株式会社格付投資情報センターより第三者意見を取得しています。

- ・ 対外 PR 支援として、融資実行時に当行よりニュースリリースを行い、サステナビリティへの取り組みの対外公表をご支援します。

○商品概要

| 商品名 | 〈ひろぎん〉サステナブルローン | |
|--------|---|---|
| | サステナビリティ・リンク・ローン | グリーンローン |
| 取扱店 | 全店 | |
| 対象となる方 | 以下のすべてを満たす法人のお客さま | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ ESG や SDGs に関する目標設定を行うこと ・ 外部レビュー※、年1回のレポートイング（銀行への進捗状況報告）を実施 <small>※原則ひろぎんエリアデザインにより実施</small> | <ul style="list-style-type: none"> ・ グリーンプロジェクトへの設備投資を行うこと ・ 年1回のレポートイングを実施 |
| お使いみち | 運転資金・設備資金 | グリーンプロジェクトにかかる設備資金 |
| ご融資金額 | 30 百万円以上 | |
| ご融資期間 | 2 年以上（固定金利は 10 年以内） | 1 年以上（固定金利は 10 年以内） |
| ご融資利率 | 当行所定の金利 | |
| | 目標達成の場合、金利引下げ※実施 ※金利引下げのみ、もしくは金利引下げ幅の一部を寄付するタイプのいずれかをご選択いただけます | — |
| ご融資形式 | 証書貸付・当座貸越 | 証書貸付 |
| ご返済方法 | 当行所定の審査によります | |
| 担保・保証人 | | |
| 取扱手数料 | 組成難易度に応じてスキーム構築手数料が必要となります | |

株式会社丸山タオル 〈ひろぎん〉サステナビリティ・リンク・ローン

発行日：2023年3月29日

発行者：ひろぎんエリアデザイン株式会社

本文書は、株式会社広島銀行（以下、「貸付人」という）と株式会社丸山タオル（以下、「借入人」という）の間のサステナビリティ・リンク・ローン（以下、「本ローン」）について、ローン・マーケット・アソシエーション（LMA）等の「サステナビリティ・リンク・ローン原則」及び環境省の「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」に適合していることを確認したものであり、以下にその評価結果を報告する。

1. 借入人とサステナビリティ

（1）会社概要

借入人は、愛媛県今治市に本社を置く、タオル等の製造・販売・加工を手掛ける1966年創業の会社である。「安心・安全なタオルづくり」にこだわり、今治タオルブランド認定商品の品質基準に適合した製品づくりや、子供や肌の弱い方でも安心して使用できるやさしいタオルの開発・製造を通じて、持続可能な社会の実現に貢献することとしている。

また、タオル製造における糸の加工から、織り・プリント・縫製・仕上げを今治の自社工場で行っており、それに加えて、他社のタオル製品のOEMにも対応している。一貫生産の強みを活かして、近年では生産工程の見直しや新技術の導入等も行い、環境に極めてやさしく安全性の高い手法でのタオル製造に取り組んでいる。

そのほか、産業廃棄物として大量に処分されていたタオルの生地端である「みみ」を再利用し、バスマットやコースター等の新たな製品としてリサイクルする活動も行っており、環境に関する取組を積極的に行っている。

産業廃棄物をなくす取り組み
捨てみみの再利用



（会社HPより抜粋）

(2) サステナビリティ

借入人は、2021年10月にSDGs宣言を掲げ、「安心・安全なタオルづくり」、「地球環境の保全」、「人権の尊重」、「社会への貢献」に取り組むことを宣言している。

株式会社丸山タオル SDGs宣言

← { 0 } →

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、積極的な取り組みを通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

2021年10月27日
株式会社丸山タオル
代表取締役 丸山 要

← { 0 } 当社のSDGsへの貢献 { 0 } →

安心・安全なタオルづくり

社員一丸となってよりよい商品の製造・開発に取組み、肌にやさしく「安心・安全・高品質」なタオルを皆様にお届けしてまいります。

【主な取組み】

- 糸の加工から織り・プリント・縫製・仕上げまで一貫生産体制の構築による品質管理の徹底・今治タオル®認定商品の品質基準に適合した製品づくり
- 子どもや肌の弱い方でも安心してご使用いただける肌にやさしいタオルの開発・製造



人権の尊重

原材料の調達から製造・販売にいたるまで、当社のタオルづくりに関わるすべての人の人権を尊重し、皆が働きがいを感じられる企業を目指します。

【主な取組み】

- フェアトレードの基準を満たす棉花の調達
- 技能実習生の労働環境への配慮と人材育成
- 性別を問わない積極採用・雇立支援制度の整備
- 外国人賃格取得支援(受験料会社負担・奨励金支給)



地球環境の保全

環境にやさしい原材料の活用や、製造過程における環境負荷低減への取組みを通じて、地球にも安心・安全なタオルづくりを実践してまいります。

【主な取組み】

- 土壌汚染防止・生態系保存に繋がるオガコックアウト活用推進
- 精練・漂白・仕上げ過程での環境負荷の少ない製法導入によるCO2排出量削減
- 残糸を活用したリサイクル開発や「捨てみみ」のリサイクル推進
- 簡易包装推進によるプラスチック利用削減



社会への貢献

地元今治をはじめ、関わりのある地域・団体と連携し、地域活性化に繋がる取組みや社会貢献活動を実施することで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

【主な取組み】

- 地域経済活性化・地場産業発展に向けた地元人材の積極採用や地元企業への積極発注
- 地域のサッカーチームへの協賛
- 介護事業所・養護施設等へのタオル寄付
- 「シラス」のPR・イベントへの賛同・関連イベント展開によるPR
- 東北コトワダ®イベントへの参加



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略。持続可能な社会をつくるために、世界が抱える問題を17の目標と169のターゲットに整理したもの(2015年9月に国連で採択)。2030年までに、政府・企業・地域社会のあらゆる人が、SDGsを実現するための役割を担っている。

(会社HPより抜粋)

2. KPIの選定

(1) KPIの概要

借入人は、KPIとして「オーガニックコットンを原材料とするタオル製品の売上高の増加率」を選定した。オーガニックコットンの普及は、土壤汚染防止及び地球環境保全にも繋がることから、更なる販売推進に取り組むものである。

(2) KPIの重要性

KPIは、オーガニックコットン市場の拡大を通じて、持続可能な社会の実現を目指す借入人のサステナビリティ経営に重要な意味を持つ。

(3) 経営方針とKPIの関係

借入人は、前述のSDGs宣言における「地球環境の保全」として、オーガニックコットン活用推進を、「社会への貢献」として、東北コットンプロジェクト[※]への参加を掲げている。本KPIは、借入人が掲げている経営方針に合致したものであるといえる。

※東北コットンプロジェクト

東日本大震災での津波により、稲作が困難になった農地で綿（コットン）を栽培、さらに紡績、商品化、販売までを一貫して行うプロジェクト

(会社HPより)



(会社HPより)

(4) KPIの有意義性

繊維産業は、富岡製糸場に代表されるように日本の近代産業の先駆けであり、繊維製品は、戦後においても主要な輸出品目であった。しかしながら、伝統的な日本の繊維業界において、サステナビリティの取組は徐々に始まっているものの、長く複雑と言われるサプライチェーンの管理等、課題が山積している。

こうした状況を踏まえ、経済産業省は2021年2月に、繊維産業におけるサステナビリティへの取組を促進するため、「繊維産業のサステナビリティに関する検討会」を設置し、計6回にわたり検討会を行った。また環境省は、衣服の生産から着用、廃棄に至るプロセスが将来にわたって持続可能であることを目指した取組を「サステナブルファッション」と定義して、積極的に普及を進めている。

環境省の「サステナブルファッション」では、国内に供給される衣料の製造において必要な水の量は年間約83億 m^3 であるが、そのうち約9割が綿（コットン）の栽培によるものであり、すべての綿をオーガニックコットンにすることで、年間約67億 m^3 の水消費が削減可能であるとされている。



(環境省HPより)

また、オーガニックコットンは農薬や化学肥料に頼らない有機農法によって栽培された綿花であり、有機農業を活用することは、土壌汚染を防止することにも繋がる。

過剰な化学肥料が土壌に残ることによる地下水の汚染や土壌微生物の消滅を防ぎ、作物を育てる土壌の力を維持することが可能であり、農薬を使用することによる生産者自身の健康被害も防ぐことが可能である。



(会社HPより)

さらに、オーガニックコットン製品が普及することによって、化学合成繊維の生産が減少すれば、日々の洗濯等で流れ出ているマイクロファイバーの軽減、プラスチックごみによる海洋汚染を減らすことにも繋がる可能性がある。

しかしながら、NPO法人日本オーガニックコットン協会によると、身近な繊維であるコットン自体、日本では商業ベースではほとんど生産されておらず、世界各地で栽培されたコットンのうち、有機農法で栽培されたオーガニックコットンの割合も数%にとどまっている。

協会は、オーガニックコットン製品を選ぶ意義として、地球環境への負荷低減のほか、生産者のサポートに繋がることも挙げている。生産者にとっては確実なマーケットが必要であり、積極的なオーガニックコットン製品の利用が、生産者が継続してオーガニックに取り組むことに繋がるとしている。

以上のことから、本KPIは、オーガニックコットンの生産及び市場拡大を目指すことで、オーガニックコットンの普及率向上、マーケットの確立に繋がるものであり、有意義な取組であるといえる。

3. サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（SPT）の測定

本ローンのSPT設定については、以下の（1）から（3）の観点より適切な内容で設定されており、サステナビリティ・リンク・ローン原則に適合していると評価する。

（1）SPTの概要

借入人はKPIとなる「オーガニックコットンを原材料とするタオル製品の売上高の増加」について、2029年度まで、前年度比の実績に対して毎年度8%増加させることをSPTとして設定した。

【借入人のSPT】

| オーガニックコットンを 原材料とするタオル製品の 売上高増加率 (前年度実績比) | 2023 年度 | 2024 年度 | 2025 年度 | 2026 年度 | 2027 年度 |
|---|------------|------------|------------|------------|------------|
| | +8% | +8% | +8% | +8% | +8% |

【借入人の過去実績】

| | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|-------------------------------|--------|--------|--------|
| オーガニックコットン製品 売上高 単位：百万円 | 6.7 | 5.6 | 7.4 |

（2）SPTの野心性

借入人のオーガニックコットン製品の売上比率は、現状では総売上高のごく僅かしかなく、大半をオーガニックコットン以外のOEM商品や定番商品が占有している。上記の2020年度から2022年度におけるオーガニック製品売上の伸び率は平均して約4.7%※であり、借入人が掲げた目標は野心的であると判断できる。また、オーガニックコットンを活用することによる環境負荷の低減効果を考慮し、継続的に拡大を維持し続けることは、十分野心的であると言える。

※借入人の上記過去実績に基づいて、売上高の年間平均伸び率をひろぎんエリアデザインにて算出

（3）SPTの適切性

SPTの適切性については、第三者機関であるひろぎんエリアデザインからセカンドオピニオンを取得している。

4. ローンの特性

評価対象の「ローン特性」は、以下の観点からサステナビリティ・リンク・ローン原則に適合しているといえる。

貸出期間中に適用される金利は、以下の要件の達成状況によって決定される。

- (1) 借入人は貸付人に取組についての進捗状況を書面にて報告すること。
- (2) SPTの目標数値を達成すること。

(1) が遵守されている場合、(2) が未達でも、スプレッドは変わらない。(1) が遵守され(2) が達成される場合、スプレッドは縮小されるように設計されている。よって、貸出条件とSPTは連動しているといえる。

5. レポートニング

評価対象の「レポートニング」は、以下の観点からサステナビリティ・リンク・ローン原則に適合しているといえる。

(1) 貸付人への報告

借入人は、SPTの達成状況を書面にて貸付人に提出する予定である。これにより貸付人はSPTの達成状況に関する最新の情報を入手できる。

(2) 一般開示

借入人は、今回の資金調達がサステナビリティ・リンク・ローンに基づくものであることを、貸付人のウェブサイトで表明することを企図している。SPTに関する情報を一般に開示することにより、透明性を確保する。

6. 検証

評価対象の「検証」は、以下の観点からサステナビリティ・リンク・ローン原則に適合しているといえる。

借入人はサステナビリティ・リンク・ローンのフレームワークに関して、前述の「1. 借入人とサステナビリティ」、「2. KPIの選定」、「3. サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット (SPT) の設定」、「4. ローンの特性」、「5. レポートニング」に関して、自らの対応について客観的な評価が必要と判断し、ひろぎんエリアデザインによるレビュー及びSPTとして設定する指標の検証を依頼した。

当該依頼を受け、ひろぎんエリアデザインは、評価対象のサステナビリティ・リンク・ローン原則への適合性について確認の上、セカンドオピニオンを作成した。貸付人も、ひろぎんエリアデザインがセカンドオピニオンを作成することを承諾している。ひろぎんエリアデザインのセカンドオピニオンは貸付人に提供される。

ひろぎんエリアデザイン 会社概要

社名 ひろぎんエリアデザイン株式会社

代表者 代表取締役社長 前田 昭

所在地 〒730-0031
広島県広島市中区紙屋町1丁目3-8

設立 2021年4月1日

資本金 1億円

株主 株式会社ひろぎんホールディングス

TEL 082-504-3016

留意事項

1. ひろぎんエリアデザインの第三者意見について

本文書については、貸付人が借入人に対して実施するサステナビリティ・リンク・ローンについて、ローン・マーケット・アソシエーション (LMA)等の「サステナビリティ・リンク・ローン原則」及び環境省の「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」への適合性、準拠性、設定する目標の合理性に対する第三者意見を述べたものです。

その内容は、入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

ひろぎんエリアデザインは、当文書のあらゆる使用から生じる直接的・間接的損失や派生的損害については、一切責任を負いません。

2. 貸付人との関係性、独立性

ひろぎんエリアデザインは、ひろぎんグループに属しており、貸付人及びひろぎんグループ企業との間、及びひろぎんグループのお客さま相互の間における利益相反のおそれのある取引等に関して、法令等に従い、お客さまの利益が不当に害されることのないように、適切に業務を遂行いたします。

また、本文書にかかる調査、分析、コンサルティング業務は、貸付人とは独立して行われるものであり、貸付人からの融資に関する助言を構成するものでも、資金調達を保証するものでもありません。

3. ひろぎんエリアデザインの第三者性

借入人とひろぎんエリアデザインとの間に利益相反が生じるような、資本関係、人的関係等の特別な利害関係はございません。

4. 本文書の著作権

本文書に関する一切の権利は、ひろぎんエリアデザインが保有しています。本文書の全部または一部を、自己使用の目的を超えて、複製、改変、翻訳、頒布等を行うことは禁止されています。